

令和元年度第1回八幡市入札制度懇話会

1. 開催日時 令和元年10月30日(水)10時00分から12時30分まで

2. 場 所 八幡市役所分庁舎2階 会議室A

3. 出席者 (敬称略)

委員	大田 直史	龍谷大学 政策学部政策学科教授
	岡山 敏哉	大阪工業大学 工学部建築学科教授
	安枝 伸雄	安枝法律事務所 弁護士

事務局 総務部技監、総務部契約検査課長 他3名

抽出案件担当者 10名

傍聴者 4名

4. 次 第
1. 委嘱状の交付
 2. 開会挨拶
 3. 会長の選任
 4. 懇話会の公開について
 5. 協議事項
 - (1) 総括、指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について
 - (2) 抽出案件について
一般競争入札1件、指名競争入札10件、随意契約3件
 - (3) 検討課題について
 - ・談合情報対応について
 - ・プロポーザル方式実施要綱について
 6. その他
 7. 閉会

5. 議事概要
- (1) 会長の選任について
委員の互選により、岡山委員を会長に選任することを決定した。
 - (2) 懇話会の公開について
会議のうち協議事項(2)までを公開とし、(3)以降を非公開とすることを決定した。
 - (3) 総括、指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について
指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について報告した。
 - (4) 抽出案件について
別紙1のとおり協議を行った。
 - (5) 検討課題について
談合情報対応及びプロポーザル方式実施要綱(改正素案)について協議を行い、別紙2のとおり意見を得た。
 - (6) その他について
指名停止等の取扱いについて報告した。

協議事項（２）抽出案件について

【抽出案件一覧（説明順）】

番号	業務区分	入札契約方式	案件名称	担当課
1101106	工事	一般競争入札	平成 30 年度栗ヶ谷配水池旧施設撤去及び耐震補強工事	上水道課
1201118	工事	指名競争入札	平成 30 年度主要市道道路改良工事（その 1）	道路河川課
1201125	工事	指名競争入札	平成 30 年度交通安全施設整備事業区画線設置工事（その 1）	道路河川課
1201127	工事	指名競争入札	平成 30 年度交通安全施設整備事業区画線設置工事（ゾーン 30）	道路河川課
3201101	物品	指名競争入札	有都小学校無線 LAN 環境整備業務	学校教育課
3301102	物品	随意契約	30m 級先端屈折式はしご付き消防自動車分解整備（オーバーホール）	消防本部
1201104	工事	指名競争入札	平成 30 年度八幡市公共下水道事業男山指月地区人孔蓋取替工事	下水道課
1201108	工事	指名競争入札	平成 30 年度八幡市公共下水道事業橋本地区管路施設耐震化工事	下水道課
1201111	工事	指名競争入札	平成 30 年度八幡市公共下水道事業男山金振地区他人孔蓋取替工事	下水道課
1201131 1201132	工事	指名競争入札	平成 30 年度公園ブロック塀補強工事	道路河川課
1201145	工事	指名競争入札	平成 30 年度公園植栽整備委託	道路河川課
2301101	コンサル	随意契約	八幡市新庁舎及び敷地環境整備詳細基本設計業務	総務課
2301102	コンサル	随意契約	新庁舎管理マネジメントシステム構築業務委託	総務課

【抽出案件に関する質疑事項】

質問・意見	回答
平成 30 年度栗ヶ谷配水池旧施設撤去及び耐震補強工事	
・入札者が多いのに落札率が非常に高いのはなぜか。	・入札参加者 9 者のうち 7 者が最低制限価格未満での入札により失格であったため、結果として落札率が高くなった。

<ul style="list-style-type: none"> ・最低制限価格未満の入札で失格というのはよくあることか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事が水道配水池の工事であり、一般土木と比較して特異な部分があったことから最低制限価格未満の入札が多かったのではないかと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・最低制限価格の設定等に問題があったということはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたルールに則って最低制限価格を設定している。
<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者9者のうち7者が最低制限価格未満の額で担保できると判断していることについて再度検討されたい（意見）。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格を設定した理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法施行令第167条の5の規定により、工事の規模に応じて、実績や経営の規模などを要件としている。また、市内業者の受注機会を確保するために地域要件を設定している。
<ul style="list-style-type: none"> ・受注機会を確保する要請にも配慮すべきとは思いますが、原則的には入札の公正を担保する必要がある（意見）。 	
平成30年度主要市道道路改良工事（その1）	
<ul style="list-style-type: none"> ・最低制限価格と契約金額が同額なのが気になるが、予定価格の設定の正当性についてはいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は公表しており、計算方法が確立しているので、裁量の入る余地は少ないと認識している。
平成30年度交通安全施設整備事業区画線設置工事（その1）	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低いですが、低くなる案件の傾向があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計しやすい業務であることから、最低制限価格の範囲内での競争がかなり行われたと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者15者のうち12者が最低制限価格未満の価格で担保できると判断しているので、最低制限価格の検討の余地があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国が示している最低制限価格の設定は、ダンピング対策の理念から今後上昇する傾向にあり上げざるを得ない方向と考える。指摘の内容を踏まえて相応しい方法を検討する。
平成30年度交通安全施設整備事業区画線設置工事（ゾーン30）	
<ul style="list-style-type: none"> ・同一金額が4者あるが、最低制限価格が読める状況だったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画線の工事の設計は国交省の赤本に基づいて設計しており、施工単価に数量を当てはめるので差異が出にくく、類似工事の平均的な最低制限価格の率に基づいて入札しているのではないかと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン30とは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限速度30キロの区域を指している。
有都小学校無線LAN環境整備業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が極端に低い理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他社から徴取した参考見積額と今回の落札者の入札額の乖離があったため。

・入札金額が段階的に違うが、なぜか。	・各業者が参入できる様な仕様書となるよう検討したが、その中で得手不得手なり物品調達価格なりの差が出たのではないかと考える。
・落札者は小学校LAN環境整備の実績を有する業者か。	・学校の無線LAN整備は初めてのことであるが、ネットワーク整備に関しては他部署での実績がある。
・安値受注で、セキュリティ部分が疎かになることがないか危惧されるがいかがか。	・セキュリティ部分は非常に大事なところであるため、IT部門と仕様書について協議し、問題がないと考える。
30m級先端屈折式はしご付き消防自動車分解整備（オーバーホール）	
・随意契約とした理由が知りたかったが、製造業者でないと難しいのか。	・車両ではなく艀装部分のため、製造業者でないとコンピュータ関係等の調整ができないことから、オーバーホールと年次点検を含めて随意契約により対応している。
平成30年度八幡市公共下水道事業男山指月地区人孔蓋取替工事	
・入札金額が拮抗しているが、読みやすい工事だったのか。	・毎年計画的に行われている工事であるため、比較的类型推しやすいと考える。
平成30年度八幡市公共下水道事業橋本地区管路施設耐震化工事	
・辞退者が多いが、辞退理由を確認することはあるのか。	・下水道の特殊な工事のため、下請け業者を確保できない業者が辞退したのではないかと考える。
平成30年度八幡市公共下水道事業男山金振地区他人孔蓋取替工事	
・失格の入札金額が等間隔で差がついていることが気になるが、いかがか。	・人孔蓋取替工事は毎年計画的に行っており、開示請求等により設計の方法・単価は周知されている。その中で最低制限価格を率で当ててきたことからそうだったのではないかと考える。
平成30年度公園ブロック塀補強工事	
・経過の中で、1回目は入札参加者がなく2回目も1者のみの入札だったのはなぜか。	・公園施設や樹木等が塀に近接していて施工困難であったこと等が考えられる。
・業者の選定を鋼構造から土木一式に変更しているが、ブロック塀の強度等に関しては後者の選定基準でも問題ないと判断したのか。	・施工可能と判断し、業者を選定している。
平成30年度公園植栽整備委託	
・特に意見はない。	
八幡市新庁舎及び敷地環境整備詳細基本設計業務	
・業者の選定方法を知りたかったが、敷地整備基本設計業務の受託業者を選定したという理解でよいか。	・この業務については基本設計の内容を理解している必要があるため、基本設計の受託業者を選定している。
新庁舎管理マネジメントシステム構築業務委託	
・プロポーザルの中でどのような評価基準で評価を行ったのか知りたかったが、市民にとっての利用しやすさ等	・この業務は基本的にはファシリティマネジメント業務であり、庁舎の管理・運営の内容のためこの基準となっている。

<p>の基準はないのか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・B I Mモデル、FMシステムとはどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B I Mは3DCADのような設計ソフトの名称であり、先進的な取り組みとしてB I Mを用いてファシリティマネジメント (FM) に運用できる設計を行うための提案を求めてプロポーザルを行ったものである。
<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員3名は市職員か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員と外部の委員で構成している。
<ul style="list-style-type: none"> ・経費の占める割合が低いが、業務の質はどの評価項目で担保されていると考えたらよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な業務であるため、企画の理解度や目的をくみ取った上での提案になっているかという項目により評価している。
<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目と配点基準はどのように決めているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会で決めている。

協議事項（3）検討課題について

主たる意見
談合情報対応について
<p>【個別の事実関係を確認するものではないが、一般論として次のような意見を得た。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札契約制度について、認識の違いや誤解を招かないように、市民への情報提供の方法等をより充実させる余地がある。 ・ 地元業者の受注機会確保や地元への配慮は要請としてはあり得るが、公正の確保が原則であることを踏まえておくべき。 ・ 相手方が主張している事実と市が認識している事実について違いがあるとすれば、その整理が必要である。 ・ どこでどういうプロポーザルを行い、どこで入札を執行し、どこで随意契約をするという流れについては検討しておいた方がよい。 ・ 手続きの過程において、決まった内容を公開し、参加の機会を確保していたかという点の検証も重要である。
プロポーザル方式実施要綱について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 要綱第 4 条の「不利」が誰にとって不利なのか、端的に内容を表記した方が良いのでは。 ・ 「不利」という言葉を存続させるのであれば、慣例上の使い方を示されたい。 ・ 「不利」について、あえて主体を記載しないのであれば、そこに合理性があるかを次回以降に検討する必要がある。